

公益社団法人東京都理学療法士協会  
令和4年事業年度第1回理事会議事録

1. 開催日時

令和4年4月8日(金) 午後6時30分～午後8時50分

2. 場所

WEB 開催

(東京医科歯科大学病院 リハビリテーション部)

3. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数及びその氏名

理事現在数 17名 定足数 10名

出席理事数 16名

出席理事 WEB 参加：会長 森島健

副会長 林弘康、千葉哲也、田代文子、池田由美、豊田輝

理事 山手千里、岡安健、中澤幹夫、板倉尚子、知脇希、南雲健吾、原田憲二、

神原舞子、鈴木享之、池田淳子

欠席理事 WEB 欠席：理事 原島宏明

4. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 3名

出席監事 WEB 参加：小野晋、渡邊要一、野本彰

欠席監事 なし

5. 議長

豊田輝 理事

6. 書記

岡村大介, 石毛崇, 野崎智博

7. 議題

会長行動報告ならびに審議事項

理事審議事項

理事報告事項

8. 議事の経過要領及びその結果

参加者間で通信状態を確認し、即時意見交換ができる状況を確認した。

定足数の確認

冒頭で森島会長から定足数の確認があり、本理事会が定款第30条に定める定足数を満たしている事を確認した。森島会長が本理事会の成立を宣した。議事録署名人は定款第31条の規定に基づき、森島会長、渡邊監事、小野監事、野本監事とし、議案の審議に移った。

**第1号議案 会長行動報告(2022年3月4日から4月8日まで)**

03/04 東京都理学療法士協会理事会へ出席(事務局から web)

事務局にて打ち合わせ

03/05 日本理学療法士協会理事会傍聴(web)

03/10 東京連盟・後援会・協会合同会議(中野)

03/12 日本理学療法士協会士会支援事業会議へ出席(協会会館)

- 03/14 株式会社興建社様へ訪問(荻窪:原島会館建設検討委員会委員長と)
- 03/15 新組織検討委員会会議出席(web)
- 03/17 関東甲信越ブロック士会長会議(web)
- 03/22 日本理学療法学会学術研修大会準備委員会出席(web)
- 03/25 三役会議へ出席  
東京都リハビリテーション協議会へ出席(事務局から web 参加)
- 03/29 大坂府理学療法士会生涯学習センター代表理事、前日本理学療法士協会理事中川氏と面談(品川)
- 04/02 日本理学療法士協会 理事会傍聴(web)
- 04/03 日本理学療法士協会 拡大組織運営会議へ出席(web)
- 04/07 数名の士会長との会議(web 会議)
- 04/08 東京都理学療法士協会理事会へ出席(web)

【活動に関する説明ならびにお願い】

1. 2022年度の初頭にあたり  
2年任期の最終年になる。今年度は「都民のための活動」だけではなく、「会員のための協会活動」を意識して取り組んでいきたいと考えている。「入会すること」「会員として協会活動に参加すること」これらのメリットを前面に打ち出すとともに、デメリットへの対応策を発信し、会員が所有感を持てる組織作りに取り組んでいく。日本理学療法士協会も危惧している入会率の問題も意識し、日本と東京と協働して積極的に取り組んでいきたい。会長活動8年間の「総仕上げ」のつもりで努力していく。引き続き、理事役員皆様の協力をお願いしたい。
2. 合同(連盟・後援会・協会)会議開催(3/10 中野にて)  
7月の選挙に向けてのキックオフミーティング。
3. 会館建設に関して  
会館建設検討委員会 原島委員長を中心に話しが進んでいる。今年度は会員への皆さんへも具体的な方針を示したい。
4. 三役会議より  
今年度より通常の理事会開催にプラスして十二分に議論する場として「理事懇談会」を開催することとした。8/6(土)・12/3(土)年2回の開催を企画している。活発な討論の場となるようにしたい。
5. 関東甲信越ブロック士会長会議より  
茨城県理学療法士会会長の浅川氏が協議会会長を務めている(任期で輪番制)。次回は、9月10日(土)東京での開催となる。
6. 拡大組織運営会議より(4/3)
  - 1) 新組織体制に関する件: 協会理事に47都道府県の士会長が加わること・・・他。  
一般理事数、執行理事数など、もうしばらく議論が必要。
  - 2) 高齢者の就労支援に関するモデル事業の件  
2021年度は福島、新潟、岡山が採択された。次年度も引き続き公募がある予定。
  - 3) 都道府県における国際事業関連のアンケート調査に関する件  
アンケート期間 3/7~3/18。今後も日本の資格が海外で認められるように展開していきたいとのこと。
  - 4) 士会支援事業  
共通事業: フォーラム開催決定: 7/24(日)テーマは未定。各士会から1名の参加を予定。  
個別事業: 継続し理事との懇談を実施。理事会への参加ではなく、テーマを絞り、数名の理事との実施を考えている。
  - 5) 次期システム構築に関して  
スマートフォンで対応可能。楽天以外のカードの使用が可能。会員管理業務の負担軽減(自動承認機能、役員情報管理→表彰に紐づけ)、研修会受付機能を強化。
  - 6) 個人番号収集に関する件  
報酬額が5万円を超える場合、マイナンバーの提出が必要。
  - 7) 消費税改正に関して  
都道府県と協会との間に損失は発生しない。
  - 8) ニューレジリエンスフォーラム  
設立総会 2021年6月8日(火)開催された。日本理学療法士協会としても引き続き協力していくとのこと。

## 第2号議案 理事審議事項

1) 小児福祉部 田代理事より

定款第4条(8)

・「第10回東京都小児理学療法セミナー」における海外講師への講師依頼について

Peter Rosenbaum氏(カナダMcMater大学小児科教授)

→小児リハにおける運動機能評価法のGMFMやGMFCS、ICFを小児リハ用に最適化した「F-words」の考案者であり、脳性まひ以外にも発達障害の領域においても様々な研究を進めているCanChildの創設者。最近「F-words」について小児リハ領域の講演等で聴かれるようになり、改めて考案者自らに話していただきたい。また、今後の小児リハのあり方についても提言していただきたいと考えている。

→費用については例年のセミナー予算に通訳料、海外送金手数料の追加で開催可能と考えている。

[費用内訳]

支出

講師料：108,000円(1時間36,000円×3時間)

通訳料：71,800円(逐次通訳で依頼)

海外送金手数料：10,000円(概算)

合計：20万円程度をイメージ

収入(参加費)

TPTA会員・学生：2,000円

上記以外：4,000円

\*100名参加：200,000円以上、150名参加：300,000円以上

→例年の参加者数(平均100~200名)から想定すると事業計画として大幅な赤字になることはないと思う。

→事業として小児福祉部に限定せず、今後、東京の学会等に併せて開催可能か。次回以降検討。

→会員と学生が同じ金額であるが、調整が必要か。宣伝になるのであれば学生を無料にする方向で検討。

→理学療法士の資格の有無で会費を検討してみてもどうか。

→通訳による費用について再検討が必要。併せてTPTAの講習会として登録もしくは認定におけるポイント付与を検討。

→開催に関して挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

2) 地域活性化局 中澤理事より

定款第4条(1)(3)(4)(8)

・支部長などの交代について

①区中央部区南部島しょブロック 大田区支部

支部長	友清直樹	山王リハビリ・クリニック
副支部長	小磯 寛	荏原病院
	板谷 匠	牧田総合病院
	山田 学	蒲田リハビリテーション病院
事務局	内藤貴司	東京衛生学園専門学校

↓

支部長	山田 学	蒲田リハビリテーション病院
事務担当	小磯 寛	荏原病院

②北多摩ブロック 清瀬市・東久留米市支部

支部長	宮田 恒徳	清瀬リハビリテーション病院
-----	-------	---------------

↓

調整中

③北多摩ブロック 東村山市支部

支部長	新倉 圭一郎	多摩北部医療センター
-----	--------	------------

↓

調整中

④西多摩南多摩ブロック 青梅市支部

支部長	長 正則	医療法人社団 仁成会 高木病院
-----	------	-----------------

副支部長 関谷 貴広 青梅三慶病院

↓

支部長 長 正則 医療法人社団 仁成会 高木病院

副支部長 大和 田敦 青梅三慶病院

⑤区西北部ブロック部 北区支部

支部長 卜部 吉文 大橋病院

↓

支部長 高橋 勇貴 東京北医療センター

⑥区西北部ブロック 板橋区支部

支部長 北田 利弘 竹川病院

副支部長 真庭 弘樹 イムス板橋リハビリテーション病院

事務局長 大塚 優希 東武練馬中央病院

↓

支部長 真庭 弘樹 イムス板橋リハビリテーション病院

副支部長 武田 俊一 竹川病院

事務局長 林 依子 板橋ロイヤルケアセンター

⑦区西北部ブロック 豊島区支部

支部長 渡邊 寿彦 ゆみのハートクリニック

事務局長 上原 裕司 長汐病院

↓

支部長 渡邊 寿彦 ゆみのハートクリニック

事務局長 關 詩織 長汐病院

⑧区西北部ブロック 練馬区支部

支部長 高橋 勇貴 練馬光が丘病院

副支部長 赤城 圭佑 辻内科循環器科歯科クリニック

↓

支部長 赤城 圭佑 辻内科循環器科歯科クリニック

副支部長 瀧本 知未 練馬駅リハビリテーション病院

⑨区中央部区南部島しょブロック 千代田区支部

支部長 秋保 光利 三井記念病院

事務局 鈴木 秀俊 三井記念病院

↓

支部長 秋保 光利 三井記念病院

事務局 篠原 優志 三井記念病院

⑩区東部区東北部ブロック部

部員 渡邊 善行 順天堂東京江東高齢者医療センター

↓

部員 田畑 稔 東京保健医療専門職大学

→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

### 3) スポーツ局 板倉理事より

・新規部員の承認について

〈スポーツイベントサポート部〉

・山田祐太郎 氏 (元気ジム大泉学園)

〈国際競技大会・スポーツ理学療法推進部〉

・日向 智 氏 (豊島病院)

※退部:遊佐真弓、鈴木圭介氏、鈴木早智氏、瀧本知未氏

→東京都理学療法士協会スポーツ局メンバー2022(案)については別紙参照。

→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

定款第4条(11)

4) 渉外局 千葉理事より

定款第4条(1)(2)(3)(9)(11)

- ・日本循環器理学療法学会循環器病対策基本法委員会から「第1回情報交換会」への参加依頼があり出席をした。

開催日：令和4年2月16日 web

交換会での内容：

- ①都道府県循環器病対策推進協議会への各士会の参加状況確認

26道府県においてリハ職の派遣あり。

- ②今後の「情報交換会」について

都道府県での連携を図るために、以降も開催予定。

→①について今後も「情報交換会」への参加依頼があった場合、渉外局にて担当で良いか。

→①について渉外局対応とすることで挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

→②東京都循環器病対策協議会への委員選出について働きかける必要はないか。

→②に関して、現状では東京都循環器病対策推進協議会に理学療法士は在籍していない。入り方やアプローチの方法に関して、関係各位と情報共有を行いながら今後検討を行う。

5) ライフサポート部 知協理事より

定款第4条(9)(11)

- ・会費規程(会費の減免)変更について

2021年度第8回理事会において、会費規程の変更文言に提出文書等は含めず修正する方向が示されたため、修正案を作成した(別紙参照)。大きな修正点は以下の通りである。

- ①提出物の記載を削除。

②JPTA同様の育児休業割引適用者も対象とすることとなったが、文章は「申請を行った会員」とし、「日本理学療法士協会」の記載はなし(3の1)。

③本会独自の対象者を3の2)に示した。昨年度手続きを1回としたため、被扶養者である翌年に申請、本文章に従うと被扶養者である年の2年後に会費の減免を行うことになる。

④シニア割引についても文章は「申請を行った会員」とし、「日本理学療法士協会」記載なし。

⑤本文章において「割引適用年度」とは、会費が減免される年を指す

→修正案について挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

6) 事務局長 豊田理事より

定款第4条(11)

- ・災害対策委員会からの情報転用許諾申請書について

別紙参照(第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会への演題登録のため)

→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

7) 医療報酬部 千葉理事より

定款第4条(8)

- ・新理学療法士への協会参加を目的として診療報酬の基礎講習会を開催予定

講師はJPTAの佐々木理事を予定、6月開催予定。協会入会のある方はまだ未入会でも受講費を無料にしてもよいか(他県士会を含む)。

→現会員もTPTAは無料、他県士会員等については今後調整。

→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

9) 公開講座準備委員会 森島会長より

定款第4条(1)

- ・「対面集合事業における感染拡大防止運営ガイドライン」および「TPTA主催事業開催基準」の更新について

一昨年度、コロナ禍におけるTPTA事業を安全に運営するためにガイドラインを作成したが、昨年度に改訂版として第2版(案)を作成した。また、ガイドラインのみならず、都士会主催事業開催基準も改訂版として第2版(案)を作成した。

→「対面集合事業における感染拡大防止運営ガイドライン」の改定に関して、挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

→本会の主催事業開催基準の改定に関して、学会・公開講座等対面イベント事業でのステージ2と3について、感染状況に違いはあるが、基準が同じ内容で問題ないか。

→収容定員の半分以下という基準に関して、追加記載を検討する。

→施設によって対面等の事業参加に関する基準の相違あり。

→主催者側の判断にて、感染対策マニュアルを厳守の上、ステージの撤廃を検討できないか。  
→主催者側の判断では対面や非対面の判断等にばらつきが生じる。基準が必要か。  
→基準を再検討する上で、ステージの数を減らして簡略化も検討。ステージ1と2のみの記載等。  
→東京都の基準に合わせてステージを検討してみてはどうか。  
→開催基準、ステージを4段階に残し、公開講座準備委員会の提案について挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

1 0) 会館建築検討委員長 森島会長より 定款第4条(11)

・会館建築検討委員会 委員追加の件について  
対象者：松本浩一(総合東京病院)  
遠藤 敦(総合東京病院)  
関 久美子(総合東京病院)

→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

1 1) 災害対策委員会 森島会長より 定款第4条(3)

・地域活性局内各ブロック部における災害対策担当者の配置(選出)の件について  
各ブロック部に以下を目的として災害対策担当者を配置いただきたい。

→目的として平時・有事における情報交換・共有を考慮しており、安否確認システム予行演習期間中に別途情報交換演習を検討中。

→当初はメーリングリストでの情報交換・共有を検討しており、東京都 JRAT の状況次第でビジネスチャットツール導入を検討。

→ブロック部に配置する方針で、挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

1 2) 災害対策委員会 森島会長より 定款第4条(3)

・TPTA ホームページにおける災害関連情報集約ページ(安否確認用フォーム常設)およびリンクバナー設置の件  
現在、各種情報が散在している状況であり、国や地方自治体の情報を集約することで情報共有の効率化を図りたい。また、安否確認用フォームを都度作成・運用している状況であり、ホームページ上に常設することでいつでも利用できる状態にしたい。

→地震の場合は震度4以上を観察対象とし、震度5弱以上の場合、委員会から報告依頼(任意)の連絡を行う

【参考】東京都内観測震度別地震回数 2020/4/1~2022/3/31

震度3:16回/震度4:7回/震度5弱:1回/震度5強:2回

→挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

1 3) 災害対策委員会 森島会長より 定款第4条(11)

・災害対策委員退任の件  
対象者：遊佐 真弓 氏 (新田クリニック)  
理 由：転居・他士会異動の為

1 4) 事務局 豊田理事より 定款第4条(11)

・新入会について

前回理事会(令和4年3月5日)から本理事会の期間の新規会員数6名。会員数9605名(令和4年4月7日現在)。

→新入会について挙手にて採決を行ったところ出席理事全員一致で承認された。

### 第3号議案 理事報告事項

1) 渉外部 千葉理事より 定款第4条(1)

・第49回 国際福祉機器展 2022

2022.10.5~7の3日間 東京ビッグサイト東棟で開催。3月末日までに出展小間の申し込みとなっており、今年度は2小間を申し込みさせていただく。JPTAとの共同出展が今年度で最後になる予定。

2) 学校保健部 鈴木理事より

定款第4条(7)(9)

(1)活動報告

「これで防げる!学校教育・スポーツ事故～体育館に関わる事故から子供を守る～」シンポジウム

主催：一般社団法人 日本スポーツ法支援・研究センター、公益財団法人 日本中学校体育連盟、  
NPO 法人 Safe Kids Japan、日本スポーツ法学会

日時：2022年3月26日(土) 13:30～16:00

形式：zoom ウェビナーによるオンライン形式

対象：学校教員、自治体関係者、スポーツ法学関係者、スポーツ指導者、  
その他本テーマに関心をお持ちの方

内容：体育館におけるバスケットゴールや間仕切りネット、床の破損、ネットポールの搬送事故等  
に関する整備点検基準や注意点そして体育器具の安全な搬送方法等の提言を行った。

※斎藤弘樹学校保健部副部長が登壇し安全な搬送方法に関して提言を行った。

(2)情報共有 (傍聴/日本理学療法士協会 2022 年度第1回理事会)

運動器の健康・日本協会「スクールトレーナー制度について」スクールトレーナー制度について

会議：日本理学療法士協会 2022 年度第1回理事会

日時：2022年3月26日(土) 13:30～17:00

内容：【情報共有】運動器の健康・日本協会が進めるスクールトレーナー制度について、2022年度にモデル研修会を開催することになっている。本資格は理学療法士であることが前提とされており、会員への広報を積極的に進めたい。また、2023年度には本格的な研修を実施する計画であり、2022年度は、研修の受託を含めた種々の調整段階となる。

→同協会学校保健委員会には板倉局長と鈴木理事が委員を担当しており、適宜、情報共有を行いながら、関連組織と連携を図り、スクールトレーナー制度推進を検討していく。

3) スポーツ局 板倉理事より、

定款第4条(6)

・文部科学省/企業等による教育プログラム〈土曜学習応援団〉への登録について

文部科学省は、平成26年4月より子供の豊かな学びを支えるために、多様な企業・団体・大学等が「土曜学習応援団」に参画し、土曜日をはじめとして、夏休み、冬休み、平日の授業や放課後等の教育活動に出前授業の講師や施設見学の受入等を行い特色・魅力のある教育活動を推進している。

都内の学校等における課外活動や体育活動時のメディカルサポート、運動器検診後のフォローアップの研修会等を行い、また、傷害の予防に対する啓蒙活動も併せて実施するため「土曜学習応援団」への登録を計画する。

4) 国際競技大会・スポーツ理学療法推進部 板倉理事より

定款第4条(8)(11)

(1)報告

『認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関』への申請結果、「認可」された。

- ・日時：2022年11月～を予定
- ・場所：対面とweb(zoom 予定)を検討
- ・講師：20名程度
- ・参加者：20名程度

※今後、講師陣と詳細な日程の調整、教材作成などを進めていく

※スポーツ理学療法認可教育機関(9件)

- 1 東京都理学療法士協会スポーツ局、2 市立函館病院、3 埼玉医科大学大学院理学療法学、
- 4 帝京平成大学、5 横浜市スポーツ医科学センター、6 合同会社リハコネクション、
- 7 フジ虎ノ門整形外科病院スポーツリハセンター、8 履正社医療スポーツ専門学校、9 広島大学

(2)研修会開催予定

- ・日時：2022年5月末を予定 19:00～20:00
- ・場所：web(zoom 予定)
- ・講師：中山 修一 先生(医師/JR 東京総合病院/東京都フェンシング協会医事委員)
- ・内容：『脳震盪について』
- ・参加者：約30名程度予定

5) スポーツイベントサポート部 板倉理事より

定款第4条(1)(11)

(1)依頼

東京都フェンシング協会主催大会・関連大会への協力

依頼元：東京都フェンシング協会、関東学生フェンシング連盟

日程：2022年4月～2023年3月 約55日間

会場：駒沢オリンピック公園体育館、大蔵第二運動場体育館、他

内容：会場救護として試合中のケガに対して応急手当、障害予防実施。

(2)活動報告

①第6回全国ボッチャ選抜甲子園への協力

依頼元：(公社)日本理学療法士協会

日程：2022年3月5日(土)8時30分集合 16時閉会式

会場：港区スポーツセンター(東京都港区芝浦 1-16-1)

内容：参加チームに1～2名ずつ付き選手のサポートを実施

②一般財団法人 東京マラソン財団

大会：東京マラソンファミリーラン

日程：2022年3月6日(日)

会場：DNタワー21及び東京マラソンフィニッシュエリア周辺

内容：レーサー車いすへの移乗動作、シーティング、走行時のサポート

[https://www.marathon.tokyo/news/detail/news\\_002506.html](https://www.marathon.tokyo/news/detail/news_002506.html)

③一般社団法人 国際テコンドー連盟

大会：第31回全日本テコンドー選手権大会

日程：2022年3月21日(祝)

会場：町田市総合体育館

内容：大会救護として応急手当など。

④青山学院大学体育連合会フェンシング部サポート

日程：4月2日(土)

会場：青山学院大学フェンシング場

内容：フェンシング部の選手に対してコンディショニング及び競技力向上を目的としたフィジカルトレーニングを実施

※今後の活動予定：4月23日(土)

6) ライフサポート部 知協理事より

定款第4条(1)(8)

・2021年度事業番号5 就労支援に関する講習会 追加講習会報告

2021年1月23日に新人教育プログラム「C-2 運動器疾患の理学療法」ポイント付与の承認を受け実施した。ポイント付与がされていないとの問い合わせがあり調べたところ、新人教育プログラムポイントは付与されていたが、生涯学習ポイントが10ポイント付与される掲示がマイページにされていたことが判明した。

→JPTAへの書類提出の際、事務局にて「履修ポイント基準(参加者・生涯学習用)」の「都道府県士会主催の講習会・研修会」にチェックが行われたため生じた案件であったため、ポイントが付与できるようJPTAに許可を得て3月26日に希望者に対し90分の追加講習会を実施した。録画視聴を合わせて9名の参加があり、手続きを踏み参加者にはポイントが付与されたことを確認した。

7) 障害者スポーツ部 林理事より

定款第4条(11)

・令和4年度第2回 障害者スポーツの環境整備に向けた実務者会議について  
別紙参照

8) 学術局 山手理事より

定款第4条(8)

・新生涯学習制度説明会開催について

新生涯学習制度への円滑な移行および情報共有を目的とし、理事・役員を対象とした新生涯学習制度に関する説明会を開催する。



開催日時：2022年4月19日(火)18:30～19:30

開催方式：WEB(Zoom)開催

対象者：理事・局長・次長・部長・委員長・ブロック部部長・支部長

9) 関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会、次年度都士会学会準備委員会 中澤理事より 定款第4条(8)  
・第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会及び第41回東京都理学療法学会大会について

①演題登録期間：2022年3月1日(火曜日)正午～4月27日(水曜日)正午(4/3現在、19演題)

②一般演題：査読者及び座長候補者。TPTA183名、TPTA以外110名。

③後援：東京都の承認を得る。

④参加登録：6月より開始する予定。会場及びWEB参加6,000円、WEBのみ参加5,000円を予定。参加登録期間が正式に決定次第、チラシを作成し各県士会やTPTA会員に配布予定。

10) 地域包括ケアシステム推進委員会 森島会長より 定款第4条(3)

・令和3年度に新規に実施した事業

①地域事業把握に関する調査を実施。

調査結果については後日報告予定。

②各支部の支部長・地域ケア担当者とブロック単位での地域活動についての情報交換会を実施。

③自治体からの受託事業を受託している支部の支部長・担当者との意見交換会を実施。

11) 災害対策委員会 森島会長より 定款第4条(3)

・第15回災害時安否確認システム予行演習 開催報告

期間：2022年3月11日(金)～2022年3月18日(金)

参加者：695名(PT 429名・OT 145名・ST 121名)

参加者の推移は別紙参照

12) 災害対策委員会 森島会長より 定款第4条(3)

・東京都災害リハビリテーション支援団体協議会(東京都JRAT) 第1回運営委員会 参加報告

東京都 JRAT の事務局が東京大学医学部リハビリテーション医学から慶應義塾大学医学部リハビリテーション教室へ移行後、2021年9月30日(木)のキックオフミーティングを経て組織化が進み、2022年2月9日(水)に新体制となり初めての運営委員会(≒理事会)が開催され、本会から森島会長と松本が理事(任期2年)に就任した。

<東京都災害リハビリテーション支援団体協議会(東京都 JRAT)>

#### 【概要】

代表：辻 哲也 氏(慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授)

副代表：西脇恵子 氏(一般社団法人東京都言語聴覚士会 会長)

事務局：慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室

#### 【構成団体】

公益社団法人東京都理学療法士協会

一般社団法人東京都作業療法士会

一般社団法人東京都言語聴覚士会

東京都介護支援専門員研究協議会

東京都地域リハビリテーション支援センター

#### 【活動内容】

1 災害リハビリテーション支援チームの育成・組織化に関すること

2 発災時、組織的かつ直接的な災害リハビリテーション支援に関すること

3 東京都内の災害リハビリテーションネットワークの構築に関すること

4 災害リハビリテーションに関する教育・啓発のための研修及び広報に関すること

5 平時から避難行動要支援者の避難体制・生活再建の構築に関すること

6 災害支援必要機材の準備に関すること

7 他の災害救助チームとの連携に関すること

8 その他、目的を達成することに関連した活動に関すること

【備考】

●2021/9/30(木)東京都 JRAT キックオフミーティング

<参加者>

東京都 JRAT 事務局  
東京都理学療法士協会  
東京都作業療法士会  
東京都言語聴覚士会  
東京都地域リハビリテーション支援センター  
東京都 福祉保健局 医療政策部 医療政策課 地域医療対策担当  
東京都看護協会  
東京都健康長寿医療センター

1 3) 災害対策委員会 森島会長より 定款第 4 条(3)

・第 1 回東京都地域リハビリテーション支援体制機能強化検討部会 参加報告  
東京都リハビリテーション協議会(森島会長が参加中)の部会となる東京都地域リハビリテーション支援体制機能強化検討部会が 2022 年 2 月 2 日(水)に開催され、本会から災害対策委員長として松本が参加した。

【参加者】

別紙 1 参照

【主な議題】 ※別紙 2 参照

- 地域リハビリテーション支援センターの事業内容の見直しについて
- 地域リハビリテーション支援センター(幹事・ブランチ)の主な役割
- 東京都地域リハビリテーション支援センター(仮称)の主な役割

【討議内容】

地域リハビリテーション支援センターの事業内容が見直され、必須項目が 3 項目から 8 項目に増加する中、ブランチ化(人的・物的資源が分割)されたセンターが対応できるかについての懸念の声が多く聞かれた。

1 4) 倫理委員会 森島会長より 定款第 4 条(11)

(1)ハラスメントに関する研修実施

内 容：「病院・施設の管理者に向けたハラスメント対策」

開催日時：令和 4 年 2 月 8 日(火) 19:00~20:30

開催場所：WEB 開催(ZOOM)

参加者：41 名

講 師：村永 信吾 氏(亀田総合病院 リハビリテーション事業管理部 部長)

(2)運営体制

前年度と同じ委員のメンバーにて今年度も運営していく。

1 5) 事務局長 豊田理事より 定款第 4 条(11)

・2022 年度理事懇談会開催について

限られた時間内で平日の夜間帯に開催している理事会において、昨今の事業運営数増加や多岐にわたる事業範囲から、審議・報告事項数が年々増加している(本会として良いことであるが)。また、昨今のコロナ禍において本会事業運営の見直しが必要な局面となっている。そこで 2022 年度から今後の本会方針を協議する機会の創出や理事会のよりスムーズな運営を目指すことを目的として、これまでの「理事会」とは別途に「理事懇談会」を開催させていただくこととなった。

<理事会>

審議事項を中心とした議事運営(8 回/年)

※適宜、会議時間内で報告、情報共有など

<理事懇談会>

本会事業方針の検討、事業報告、情報共有、理事間連携業務の確認、その他理事が必要と考える事項について協議(2 回/年)

○候補日時：8月6日（土）、12月3日（土） 14時～17時

○開催形式：対面（感染拡大状況によりWEB開催）

16) 国際部 千葉理事より

定款第4条(10)

・部員退任について

国際部部員 キム・ミンジュン（総合東京病院）（TPTA 退会に伴う退任）

17) 副会長 林より

・東京都「障害者スポーツの環境整備についての実務者会議」参加報告

3/24 に開催された上記会議について報告された。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び出席監事がこれに署名押印する。

令和4年4月8日

公益社団法人東京都理学療法士協会 令和4年事業年度第1回理事会